



# 第 923号 ミニかわら版

令和 6 年6月 15 日  
(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

ヤマダ総合公認会計士事務所  
代表 山田良平

〒124-0012  
東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル  
TEL:03-3694-6091  
FAX:03-3691-6680

## 国の借金、3月末時点で約1297兆円と過去最高に

財務省が公表しました、令和6年3月末時点での国債や借入金などを合計した「国の借金」は、令和5年12月末から10兆7095億円増えて過去最高の1297兆1615億円となりました。令和6年度の税込総額は約69兆円と7年連続で過去最高を更新の見通しですが、高齢化による社会保障費の膨張に加え、物価高対応、持続的で構造的な賃上げ実現などの財政支出があるため、新規国債発行で歳入不足を賄う予定としています。国の借金は膨張が止まりません。

令和6年3月末の国の借金の区分別では、昨年12月末に比べ、国債が約11兆円増の約1157.1兆円と全体の約89%を占め、うち普通国債(建設国債、赤字国債等)は約1053.7兆円と過去最大だった昨年12月末から約9.9兆円増えました。その内訳は、長期国債(10年以上)が約6兆円増の約808.4兆円、中期国債(2年から5年)が約1.7兆円増の約194.5兆円、短期国債(1年以下)も約2.2兆円増の約50.7兆円とすべて増加しました。

この「国の借金」約1297兆円は、令和6年度一般会計予算の歳出総額112兆5717億円の約11.5倍、同年度税込見込み額69兆6080億円の約18.6倍にあたり、年収500万円の会社員が9300万円の借金を抱えている勘定です。また、わが国の今年4月1日時点での推計人口1億2400万人(総務省統計局の概算値)で単純計算すると、国民1人当たりで約1,046万円の借金となり、令和5年12月末時点の約1037万円から増加しています。

わが国の公債残高(普通国債残高)は年々増加の一途を辿っていますが、令和6年3月末実績の公債残高約1053.7兆円が、令和5年度末(6年度当初予算ベース)では約1075.7兆円が見込まれます。令和6年度予算の税込見込み額約69.6兆円の約15.5年分に相当し、国民1人当たり約867万円にのぼり、将来世代に大きな負担を残します。ちなみに、上記国の債務である普通国債から財投資、政府短期証券等の債務を除き、国負担分の長期債務として考えられる借入金、交付国債等に、地方負担分の長期債務を合計した、国及び地方の長期債務残高は令和5年度末(6年度当初予算ベース)で約1285兆円に膨らむ見込みです。

\*詳細はこちらからご確認いただけます。

「国債及び借入金並びに政府保証債務現在高(令和6年3月末現在)(財務省)」令和6年5月10日

<https://www.mof.go.jp/jgbs/reference/gbb/202403.html>

